

和十二年一月二十三日第三種郵便物認可
和十三年十一月二十五日印刷 納本
和十三年十二月一日(毎月一回)日發行

良改の路道

載 轉 禁

號 二 十 第

卷 十 二 第



行發會良改路道

隆

鋪裝報國

鋪

東京・丸之内

日本鋪道株式會社

社長 淺利三朗

東京・大阪・福岡・札幌・京城・台北・新京・橫濱・名古屋・京都



瀝青乳劑

混合用エマルピア
透入用エマルピア

一般道路鋪装工事請負

東京瀝材工業所

本社

東京市京橋区銀座西三丁目一番地 碌々ビル
電話 京橋(56) 一三二五番

出張所

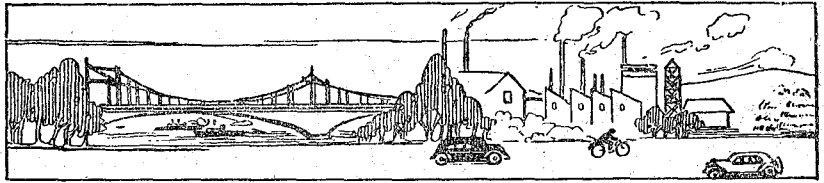
大阪市東区釣鐘町二丁目二九番地
大倉土木株式會社大阪出張所土木部内
電話(東) 三二一三二五番

出張所

仙台市東七番町四五番地
電話 三二二六番

工場

東京市江戸川区長島町五七〇五番
電話 葛西 一三五番



道路の改良 第二十卷第十二號 目次 昭和十三年十二月一日發行

口繪 土湯峠 (福島縣猪苗代線)

卷頭言

論 說

戰爭と道路……………經濟學博士 檜崎敏雄 (三)

研 究

陸運調整の實際 (一八・卷)……………内務事務官 武若時一郎 (二〇)

漁業權の收用に關する基礎的理論……………内務省 田口二郎 (九)

技 術

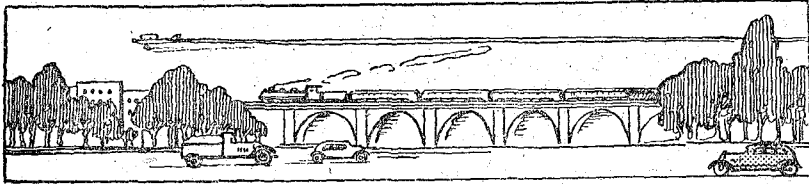
米國に於ける大橋梁振動測定報告……………内務省土木試驗所 永富勘四郎 (二七)

史 料

中世の道路交通 (一)……………千葉縣廳 渡部英三郎 (五)

說 苑

第二回交通事業調整委員會の經過を見る……………一 記 者 (七)



土湯峠を越えるまで

福島縣廳土木課 (九)

昭和十三年道路愛護週間實施經過

秋田縣廳土木課 (八)

時局日誌

Y H 生 (六)

地方通信

關東・近畿・中國・九州の各地方

(一〇)

法令

最近内務省に於ける路政關係行政處分例

M O 生 (二三)

逐條土地收用法資料(七)

高坂孝三 (三五)

路政問答

國有鐵道敷設の爲にする道路占用協議

其他 (一五)

路政春秋

夢ならば覺めざらまじと超高速自動車國道の計畫

其他 (一六)

雜報

◎内務省内の異動◎交通專業調整臨時委員發表◎内務省土木試驗所談話會◎近刊圖書雜誌

(一四)

◎叙任辭令

(一四)

◎編輯室の内外

(一五)

附錄 總目次

職員名簿

優良品國産



製品ノ選擇ハ先ツ原料ノ
選擇カラ、瀝青乳劑ノ
良否ハ原料アスファルト
ノ選定カラ

瀝青乳劑ノ選定カラ
製品ノ選擇ハ先ツ原料ノ
選擇カラ、瀝青乳劑ノ
良否ハ原料アスファルト
ノ選定カラ

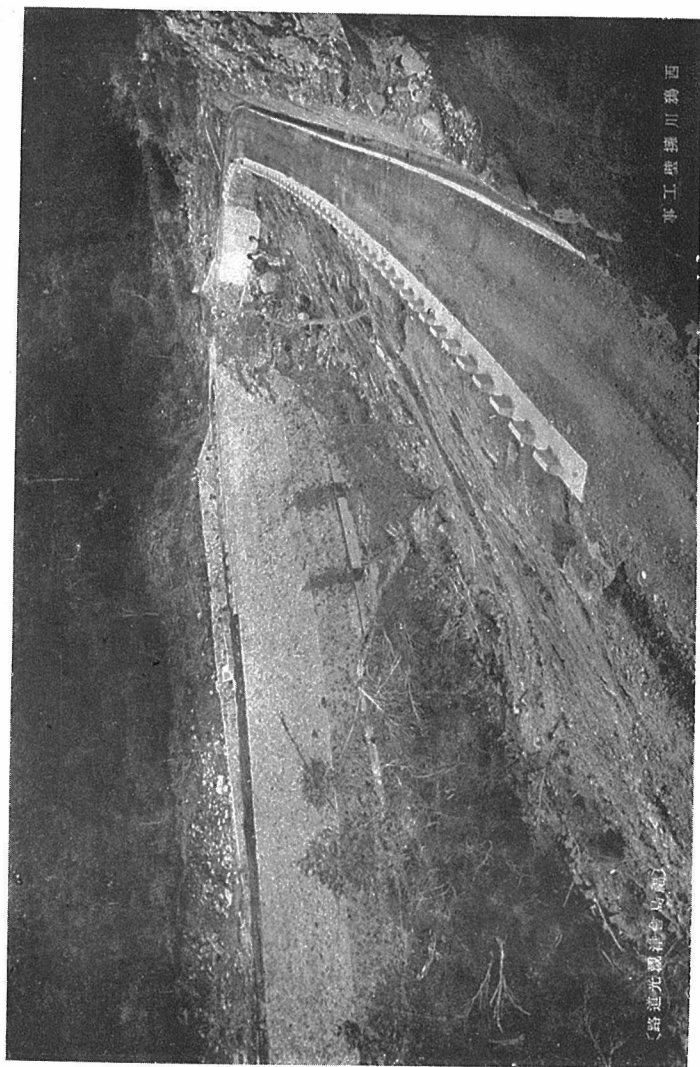
瀝青乳劑ノ選定カラ
製品ノ選擇ハ先ツ原料ノ
選擇カラ、瀝青乳劑ノ
良否ハ原料アスファルト
ノ選定カラ

日本石油アスファルト一手販賣

瀝青部 會社 株式 物産 野 淺

東京丸ノ内海上ビル(電話丸ノ内2581-2589)

土 湯 峠 (福島縣猪苗代線)

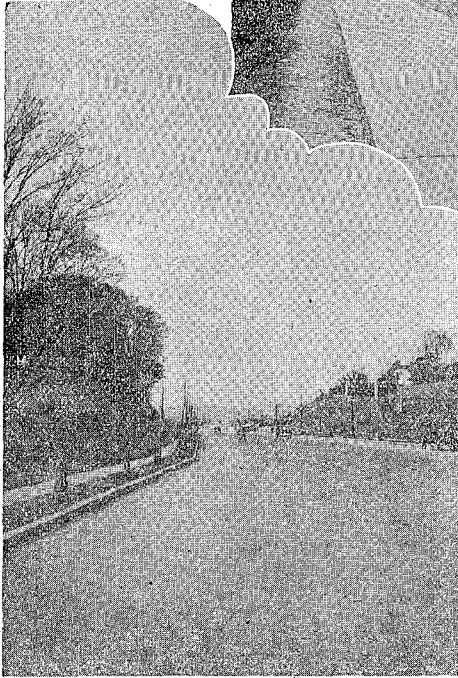
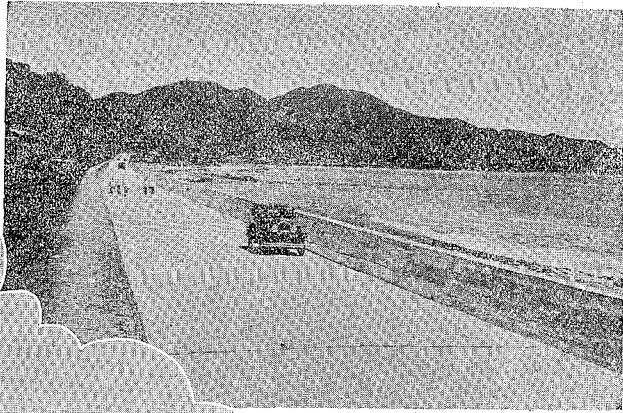


(踏道光觀繪巻出配)

西 鴉川 築工

照 參 號 十 二 卷 第 二 十 本

静岡県由比國道
ベロセメント使用



早 強
アサノ
ベロセメント

強 度 高 ク
硬 リ 早 ク
使 テ 經 濟

↑ 大宮街道志村附近
淺野セメント使用

— 説明書御申込次第送呈 —

淺野セメント株式會社

東京市 丸ノ内 海上ビル

！づ出本配回七第

器 計 空 航
械 器 密 精

一字本橋 授教工等高
士博 學理

！づ出本配回七第

及 道 鐵 路 道
法 工 施 木 土

短政田内 透眞井藤
樂 松末 雄定西河

！づ出本配回八第

法計設 クニコ 筋鐵

師 技 府 都 京
年 田 永

大講座 新變興機械工學

・頁十五百二卷每製上菊卷三十全・機成養的成速の者術技秀優
載滿版圖密精 書導指際實の切懇易平。ノ關
錢五十七圓二 地外 錢十五圓二 月每 寶會

大講座 鐵筋工學

頁十五百二卷每製上菊卷八全・實の位本場現つ立に役グス
載滿版圖密精 集全大の望翹。ノ書導指的際
錢五十七圓二 地外 錢十五圓二 月每 寶會

大講座 土木工學

均平頁百四卷每製上菊卷九十全・本る依に者威權高最的地實
載滿版圖密精 成學工木土驗實の得獨邦
錢十五圓三 地外 錢十二圓三 月每 寶會

スルア

町保神田神京東 社本でキガハ
八八四二京東橋振 次越申御に宛
六七二・五七一二段九話電 すまし星道第

皇進本見容内

躍進工業日本の推進力
學界空前の大編隊！！

二 櫻 賀大 授教大北	ンピー夕殊特用場工
一 鐵 山森 士學工	I 論理機動發空航
一 鐵 山森 士學工	II 論理機動發空航
關 檢部本政艦軍海 行發審協物審本日	I 準標業作造鑄
關 檢部本政艦軍海 行發審協物審本日	II 準標業作造鑄
一 野日 授教大東 郎一嘉鍋興 士學醫	學 法療氣電
夫英 原吉 教助大北	罐 汽 蒸
平福屋弘廣 士博學工	梁 續 連
部三新野佐 授教大北	要 綱 簡 唧
部四 田五 士博學工 雄秀 尻田 士博學工	料 材 機 空 航
兄諒 野小 (監造構) 士博學工	I 度強及造構の路線道鐵
兄諒 野小 (監度強) 士博學工	II 度強及造構の路線道鐵
郎次敬川小 士博學工	法計設材部土凝混筋鐵

・明説・外内頁百二各・判裝半菊・
・裝ス・ロク繪・載滿聲揮表圖・
・意願探題・本酒滿甲堅・入函・

圓一名 定價

工業日本の精神、各部門を代表する機威者の執筆になる空前の名著、工業の全般に亘り簡潔明快、其の要點を縮壓した最新知識の一大集成、學界並に關係業者の必讀を乞ふ。

アルス工學全書



アイスフアルト

施
工

フロアコンクリート

コンクリート

コンクリート

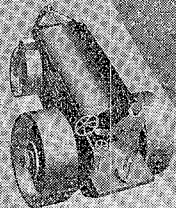
ウォーターフアルト

販
売

小倉石油株式会社
専属販売店

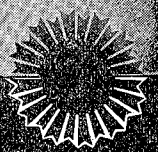
南 部 商 會

本店	東京丸の内三蔵六号館
	電話 丸の内 654・5014
出張所	大阪西区土佐堀大同生命ビル
	電話 土佐堀 5680番
出張所	名古屋市中区矢場町五の切東陽ビル
	電話 中国 2785番



事互装舗路道トルアフスア
事互装舗トルアフターオウ割乳膏瀝
賣販理代トルアフターオウ・トルアフスア倉小
膏散造製グソイフルヒサア

社會式株木工市都



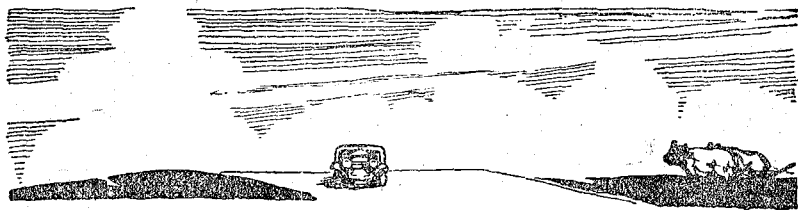
地番二四丁一橋本區橋本市京東
番八六二二(56)橋本 話電

昭和十三年

道路の改良

十二月一日

第十二卷
第二十號



言 頭 卷

支那に對しての義戰茲に一年有半に及ぶ、皇軍の嚮ふ所草木も悉く風靡するの概がある。歳末に際し帝國の萬歳を三唱せざるを得ない。然り而しながら廣東及漢口落ちて我軍に歸するも蔣政權は尙依然として帝國に抗するの勢を示す、寔に遺憾千萬である。菊花薫る明治節の佳辰に於て帝國政府は重大なる對支方針の聲明を發した。之れ實に世紀の使命たる東亞新秩序の建設に對する具體的根本政策の表現に外ならない。

惟ふに我國民は甫めて其の使命の存する所に目醒め東亞に眞の平和をもたらせんとして蹶起したのである。

恭しく按ずるに明治聖皇明治戊辰の三月、御宸翰を降し賜はれた其の聖言の中に

列祖ノ御偉業ヲ繼述シ一身ノ艱難辛苦ヲ問ス親ラ四方ヲ經營シ汝億兆ヲ安撫シ陋習ニ慣レ尊重ノミヲ朝廷ノ事トナシ神州ノ危急ヲ知ラス 朕一度ヒ足ヲ擧クレハ非常ニ驚キ種々ノ疑惑ヲ生シ萬口紛紜トシテ 朕カ志ヲナサ、ラシムル時ハ是 朕ヲシテ君タル道ヲ失ハシムルノミナラス從テ列祖ノ天下ヲ失ハシムルナリ汝億兆能々 朕カ志ヲ體認シ相率テ私見ヲ去リ公議ヲ採リ朕カ業ヲ助テ神州ヲ保全シ列聖ノ神靈ヲ慰シ奉ラシメハ生前ノ幸哉ナラン

と今時之を拜讀して聖意の宏遠なるに恐懼措く能はざるのである。

苟くも帝國臣民たるものは敬虔の心襟を以て、聖旨を奉戴し自肅自戒以て其の義務を遂行しなればならぬ、其の責務の存する所を十分に自覺するには教育勅語を服膺して其の垂示し給へる所を各々其の立場に在りて實踐するの外はない。明治維新は三千年來皇徳に光被せられて發達せる日本精神が發露したる結晶である、故に古今に通ずるも謬らさず中外に施して悖らざる皇宗皇祖の御遺訓を垂示し給ひ我等臣民の遵守すべきの道を教へさせ給ふた、我等臣民は敢て文獻の乏しき時代に求むるの要なく、神代の歴史を獨斷的に述ぶるを俟たず、唯偏に教育勅語を實踐躬行するのみである、臣民たるの義務を履行して完全するならばまた他に復古精神道や武士道を云爲するの要なきものであらう。殊に論者によりて其所説を異にするものあるに至りては寧ろ之を説かざるに如かざるものである。

實に教育勅語に顯現せられたる大精神は光とあり熱となり水となり大氣となり養分となり不知不識の間に國民を育成したので國勢の今日あるは其の淵源する所實に此に在る、凡そ事の成るは成るの日に成るにあらざるを證して餘りあると謂ふべき乎。

空前の國情下に在りて克く思想指導の道を得たるものありや否、仲々の念禁する能はず敢て一言を述ぶ。(洸民)